

ChatGPT-Botを活用した効率的な AI医療コンサルティングメニュー生成及び報告書作成

アイテック株式会社 安成容 an-sungyong@itec-ltd.co.jp

ChatGPT-Bot活用における課題

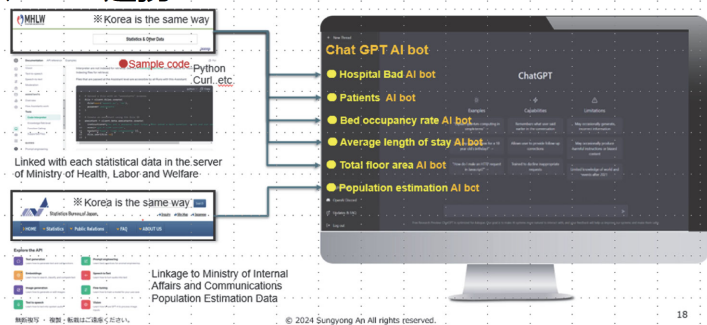
- 公的機関が提供するAPIのデータ形式がChatGPTで容易に解釈できる形でない場合がある。これは、非構造化データを構造化データに変換する必要がある場合に特に顕著となる。また、公的機関のデータの更新頻度やアクセス制限が統合の複雑さを増す可能性がある。
- その他、社内のBig Dataを利用するには、データクリーニング・マイニングの範囲を定める必要がある。

ChatGPTs+APIの適用と方向性

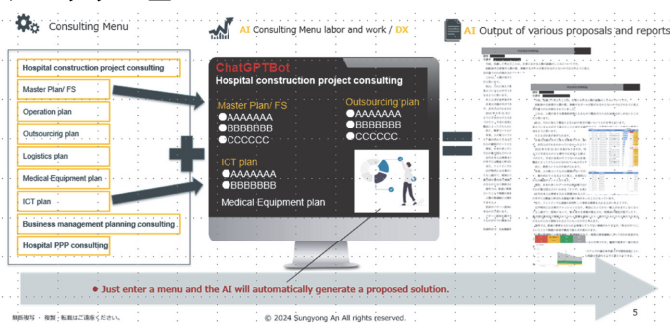
- ChatGPTsを利用し、非構造化データの構造化やAPIのラッパーなどを作成して、公的機関のデータ更新スケジュールに合わせて定期的にデータを同期する。また、必要に応じてAPIキー管理やアクセス権限の管理ツールを使用する。
- 社内Big Dataは報告書や分析などに利用頻度が高い、コアメニューを選別し、データセット内の誤りや不完全な情報を修正し、有益な情報のみを抽出するためにデータクレンジングツールを使用する。データマイニングは、パターンやトレンドを特定する。

OpenAPI及びChatGPTsの取り組み

◆ API連携



◆ コアメニュー



◆ 報告書作成

◆ 自治体のAIガイドライン



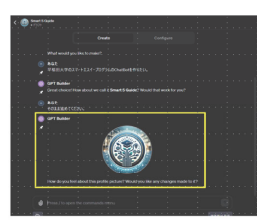
◆ 自治体のChatGPTの効果



◆ API連携課題



◆ GPTs生成



ビジネス展開に向けたEA発掘

項目	内容
インタビュー件数	4件(実施) / 7件(計画) ① Wonju Severance Christian Hospitalの救命救急センター長 ② 高麗大学附属病院の予防医学教授 (Kyongdo Medicalから紹介) ③ GT SCIEN (検査機器、業務統合管理システムメーカー) ④ Pro-Technique (エンジニアリング、調達、建設、プロジェクト管理などのサービスを提供)
修正すべき仮説	・韓国法人をパートナー企業と連携することで、事業獲得のリスクを軽減できる (KP+KR) ・設立することで、KOICAの事業獲得の可能性は高まる (KA+C\$) ・韓国法人を設立しても、KOICAの事業獲得に必ず成功するわけではない (KA+R\$) ・パートナー企業と連携する場合、事業内容や規模が似ている企業を選ぶとよい (KP+KA) ・韓国での事業展開を成功させるためには、韓国語のスキルや韓国文化への理解も必要 (VP+CR)
インタビューを通じて、発見できたこと・字けたこと	・KOICAの事業は、韓国企業や団体との競争が激しい ・韓国法人を設立することで、KOICAの事業獲得の可能性は高まる ・パートナー企業と連携することで、事業獲得のリスクを軽減できる ・韓国での事業展開を成功させるためには、韓国文化への理解も必要 ・パートナー企業から得られる情報は、プロセスが韓国より短い ・パートナー企業の協力の下で、韓国他、イギリスからのニーズも把握できた ・KOICAから公表しているプロジェクトより、事前にPJ調査のコンサルティングが有効 ・KOICAからの情報は、営業力も重要となる
概要検証の結果と今後の行動計画	・自社の事業内容や能力を十分に把握し、KOICAの事業獲得に必要な要件を満たしているかを検討する。 ・韓国法人を設立するが、パートナー企業と連携するかを慎重に検討する ・パートナー企業とJVで参加できるプロジェクトを検討 ・パートナー企業へ訪問協議 ・高麗大学附属病院の教授へ訪問協議

今後の取り組み

